

一流企業が大切にしている先人の顕彰と慰霊

「法人供養塔」をご存じでしょうか？

平たく言えば会社のお墓。創業者をはじめとする歴代社員や、お客様、お取引先など、会社の発展に貢献していただいた方々を顕彰し、感謝の意を表すために建立する記念碑です。誰もがその名を知る一流企業の多くが、立派な法人供養塔を建立し、創業の原点や先人への感謝の念を大切にしている

事実は意外に知られていません。当社は、この法人供養塔の建立事業を四十年にわたって手掛けてまいりました。

昭和四年に当社を創業した祖父・倉元信吉は、岡山を中心に手広く建築業を営んでいましたが、仕事を通じて墓相の第一人者・竹谷聰進先生とご縁に恵まれたことから、私の、

法人供養塔を通じて 日本人のよき精神 を取り戻す

のお力添えを得て研究を継続することができたのです。

研究を続けるうちに私は、伸びている会社には必ず立派な法人供養塔があり、会社の成長に貢献した先人への謝念を失わずにいることを確信するようになりました。

業績の低迷していたある食品メーカーは、長年後塵を拜してきたライバル企業が法人供養塔へのお参りを大切にしていくことを知り、自社にそうした真摯な姿勢が欠けていることを痛感。すぐに法人供養塔を建てて先人の顕彰を始めたところ、幸いにして大きなヒット商品に恵まれ、業界トップの座を手中に収めたのです。

また、ある建設会社のオーナー様は、作業中の人身事故が絶えず、心労に押し潰されそうになっていたものの、法人供養塔を建立してからは一切事故が起こらなくなったと、奥様

お墓は人、家の生きている証

父である先代社長の美野累が、家運を高めるお墓づくりの極意を授かる機会を得ました。これを機に当社は墓石事業へと徐々に比重を移し、父の後を継いだ私の代でさらに法人供養塔事業へと特化。社運隆昌に関わる希少なノウハウを扱うことから、他の追従を許さない建立実績を重ねてまいりました。

とはいえ、私が大学を出て当社へ入社した頃は、法人供養塔についてのノウハウは確立されておらず、一からすべてを研究しなければなりませんでした。私は高野山を中心に、たくさんの法人供養塔を調査して回りました。

研究には随分資金も費やしましたが、当時は財務状態もかなり厳しく、辛い思いも随分しました。それでも多くの方々

株式会社
倉元家石材商店
代表取締役社長
倉元秀禎



ともども喜びを噛み締めておられました。

竹谷先生は、お墓は人、家の生きている証であり、相続のものであると説かれました。企業に限らず、しっかりとお墓を建て先人の尊い心を真摯に継承する家や民族が栄えていくことは、歴史を検証すれば明らかです。いまの日本人にはものふの心や義理人情など、かつてのよき心根が失われつつありますが、私どもは法人供養塔の建立を通じて、こうした尊い精神をいま一度取り戻し、日本がこの厳しい時代を力強く生き抜いていく一助となることを願っています。

そのためにも当社は、百年企業を視野に、この事業を手掛けた原点を忘れることなく、経営基盤の一層の強化を通じて社員が当社で働くことを誇りに思える会社にしていく考えです。

取材・執筆／致知編集部

感謝の気持ちをカタチにします

成功をおさめた企業の皆さまは、節目の時に供養塔をお建てになります。

社運隆盛・企業供養塔

法人五輪塔 ほうじんごりんとう

創立30周年、50周年などの節目の年にお客様、取引先、物故者への感謝の心をカタチにすることで企業隆盛の道が拓かれていきます。

